

8-4-19 I T S 専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

専門委員会を9回（4月、5月、6月、7月、8月、9月、11月、12月、2月）開催した。専門委員会を開催しない月もE-mailを活用し、協議と情報交換を実施した（WGの月次報告、指示事項の周知・対応等）。

(2) 勉強会・活動報告会

Web セミナー方式で、年次報告会・勉強会を実施した。自動運転の社会実装に着目して、以下2名の有識者を招き、ご講演いただいた。

- ・多摩大学経営情報学部事業構想学科

准教授 樋笠 堯士 様

演題：自動運転の社会実装における社会的受容性とサイエンスコミュニケーション

- ・先進モビリティ株式会社

代表取締役社長 瀬川 雅也 様

演題：自動運転の現状と将来

(3) WG 活動

a) ITS に関わる技術、施策の調査

我が国の ITS 全体のこれまでの実現状況を概観し、今後 ITS 分野において建設コンサルタントが取り組むべき課題等を整理した。

- ・我が国の「ITSに係るシステムアーキテクチャ（関係5省庁（※当時）、平成11年）」において規定されたITSサービスの現在の実現状況等を整理し、今後のさらなるITS実現に向けた課題等を抽出
- ・課題抽出結果に基づき、「今後のITS実現に向けた課題と建設コンサルタントの役割」をインフラ、技術開発、法制度、交通運用、普及促進の観点から整理

b) ビッグデータの活用可能性検討

近年各所で取得・蓄積並びに活用が進んでいるビッグデータについて、主に交通分野に関する最新動向を調査し、ビッグデータの活用可能性を検討した。

- ・ビッグデータの内容や特性を整理したビッグデータカタログについて、データ更新およびデータ提供各社へのヒアリングを実施
- ・カタログ掲載内容の是非、情報公開の可否を確認し、情報公開の許可を得た13企業のカatalogを整理
- ・業務等で分析したい内容に応じて最適なビッグデータが選べる選定フローを作成

c) 持続可能な次世代モビリティの調査

「車両」の進化の状況を把握するとともに、建設コンサルタントに期待される役割を模索するため、次世代モビリティに関する以下の情報収集を実施した。

- ・中低速モビリティ
- ・歩行系モビリティ
- ・新たなデマンド交通サービス
- ・空飛ぶクルマ
- ・自動運転

2. 次年度の活動について

次年度も今年度の検討テーマを継続して検討し、以下の活動を実施する。

- ・WGの定例的活動
- ・WG以外のITSに関連する諸テーマの検討
- ・上位委員会からの指示事項への対応や関連委員会、WG等と連携した検討
- ・勉強会・講演会の開催

（ITS専門委員会委員長 松本 章宏）